

## SAITAMAコーラスワークショップ 指導者講習&コンクール課題曲講習

埼玉県合唱連盟主催のSAITAMAコーラスワークショップ2022が、7月9日(土)さいたま市文化センター大・小ホールにおいて開催され、コンクールを目指す多くの中高生と一般の方々が参加しました。

●指導者講習：指揮法・演奏法・楽曲分析  
【お悩み解決クリニック】 相澤直人先生

●コンクール課題曲講習：  
・NHK全国学校音楽コンクール 中学校の部課題曲  
武田雅博先生  
・2022年度全日本合唱コンクール課題曲  
江上孝則先生/福永一博先生

ワークショップ(WS)は、合唱団指導者に対するクリニックと、コンクールを目指す合唱団の楽曲指導の二本柱で構成されていました。課題曲講習には、福永先生：5団体、江上先生：5団体、武田先生：5団体がそれぞれ、各30分ずつ受講し、アドバイスを受けました。指導者講習では、楽曲分析として「**ぜんぶ**～卒業式バージョン<sup>※</sup>」を用い、音楽の基本的要素に沿って丁寧な解説が行われました。

※卒業式バージョンは、作曲家自身によって編曲されたもの。  
本年5月30日埼玉県合唱連盟発行の『**彩のうたII**』に収録。



相澤直人先生



福永一博先生

相澤先生は親しみのある語り口で聴衆を引き付け、ジェスチャーを交えながら、ときにジョークを飛ばし(たまにスベルがそれも聴衆を和ませ

ます…)、難しくなりがちな講習を楽しく進めていました。

指導の一環として、ステージで実際に指揮してみたい人はいるかと問かけると、すぐに手を上げた若者が出てきました。彼は臆することなくステージに立つと、言われるままに指揮を始めました。受講者はマスク着用ではあるが、会場で歌うことが許されていたので、講習で受けたことを確かめるように歌いました。すると指揮ぶりを横で見ていた相澤先生が、立ち姿から手の位置など一つ

ひとつアドバイスをすると、確実によくなってゆくの  
が手に取る



武田雅博先生



江上孝則先生

ようにわかりました。指揮をしたいと申し出た若者は、男声合唱プロジェクトYARO会のメンバーである男声合唱団イル・カンパニーレ(川越市)の細田さんでした。良い指揮者になって欲しいですね。

### 言葉が音楽を超えてはいけない

相澤先生の話で印象に残ったのは、合唱では、よく言葉が大切に歌いなさいと言われるが、しかし、「言葉が音楽を超えてはいけない」「歌詞を作曲家がどう読んだか」が重要であり、そこに注意を向けるべきと強調されたことでした。



受講された団体は、コンクールに向けてさらにブラッシュアップしてゆくことでしょう。ご健闘を祈ります。

## 東京六大学OB合唱連盟演奏会

7月17日(日)東京芸術劇場において第12回東京六大学OB合唱連盟演奏会が行われます。現役組は去る5月1日に同じ会場で定演を開きました。今度はOBが元気な姿を見せる番です。

1. 明治大学グリークラブOB会合唱団駿河台倶楽部: 男声合唱とピアノのための『新しい歌』
2. 法政大学アリオンコールOB会・男声合唱団オールアリオン: 男声合唱と小鼓のための『美女打見れば』
3. 早稲田大学グリークラブOB会・稲門クラブ: 男声合唱とピアノのための組曲『夢の意味』
4. 慶應義塾ワグネル・ソサイエティーOB合唱団: Widmung(献呈)・Nänie(哀悼歌)
5. 東京大学音楽部OB合唱団アカデミカコール: グノー ミサ曲第2番ト長調
6. 立教大学グリークラブOB男声合唱団: 『美しき乙女たちへ』〜ルコント・ド・リールの詩によるフランス歌曲集
7. 合同演奏: エール交歓



メンバー同士が規定の距離を確保できれば「マスクなし」が認められました。ただし、合同演奏に全員が出ることは無理なため、各校選抜(ジャンケンやクジ引き!)してオンステします。(;)